

整骨“夢”おおいた

公益社団法人 大分県柔道整復師会広報誌
<https://www.seikotsu-oita.jp/>

第17号
Mar. 2026



✔ 柔道整復師とは

昔から「ほねつぎ」「接骨師」として広く知られ、現在は高校卒業後、厚生労働省の許可した専門の養成施設（三年間以上修学）か文部科学省の指定した四年制大学で解剖学、生理学、運動学、病理学、衛生学、公衆衛生学などの基礎系科目と柔道整復理論、柔道整復実技、関係法規、外科学、リハビリテーション学などの臨床系専門科目を履修します。

国家試験を受け、合格すると厚生労働大臣免許の柔道整復師となります。資格取得後は、臨床研修を行い、「整骨院」や「接骨院」という施術所を開業できます。また、勤務柔道整復師として病院や整骨院などで働くこともできます。

柔道整復師（国家資格）≠ 整体師、カイロプラクティック師（国家資格ではありません）
柔道整復師（国家資格）≠ あん摩・マッサージ・指圧師（国家資格）

✔ 柔道整復師の業務

整骨院や接骨院では、柔道整復師によって、骨・関節・筋・腱・靭帯などに加わる急性、亜急性の原因によって発生する骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷などの損傷に対し、手術をしない「非観血的療法」によって、整復・固定などを行い、人間の持つ治癒能力を最大限に発揮させる治療を行っています。



会長挨拶

関係各位の皆様におかれましては、平素より公益社団法人大分県柔道整復師会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2026年は、人口動態の変化、医療・介護・予防領域の再編、保険制度の適正化要求の高まりなど、柔道整復師の職能価値と社会的責務が改めて問われる重要な一年となっております。こうした情勢の中、2025年9月より公益社団法人大分県柔道整復師会では「大分EXPO1.0」を新規事業として立ち上げ「未来共創と社会貢献」の理念のもと大分県内全ての柔道整復師が一体となり、この理念を共有し、柔道整復師が持つ専門性を「治療」から「予防」「スポーツ」「地域包括ケア」へと有機的に接続し県民の健康寿命延伸と社会資源としての機能強化に努めてまいりました。

昨年度は定時総会および臨時総会に多くの会員の皆様にご出席をいただき組織運営の透明性向上、学術活動の拡充、療養費制度の適正運用、地域医療連携の深化といった重要テーマについて活発な議論と貴重なご提言を賜りました。とりわけ職能団体としての信頼性を担保するガバナンス体制の強化や、公益性をより明確に打ち出す事業設計の方向性が共有できたことは、未来に向けた大きな前進でありました。ご協力いただいたすべての皆様に改めて深く感謝申し上げます。

また、県内で開催いたしました学術セミナーにおいては、臨床力の向上、科学的根拠に基づく施術の確立、多職種連携に耐えうる医療知識の更新を目的として、多くの会員が熱心に研鑽を積まれました。本会の学術活動は、単なる技能習得の場ではなく、県民医療の質を直接的に押し上げる公益事業そのものであります。この認識のもと、地域特性を活かした実践的な学びの機会を今後も継続し大分県全体の施術水準の底上げに寄与してまいります。

さらに、大分が世界に誇る「別府大分毎日マラソン(別大マラソン)」は、単なる競技大会の枠を超え、スポーツ文化、国際発信、地域アイデンティティの象徴であります。柔道整復師がスポーツ現場で果たす役割は年々重要度を増し、選手ケア、障害予防、コンディショニング支援はもちろん、救護体制を含めた大会運営への貢献も、職能の社会的証明となる重要な実践領域であります。本会も地域スポーツ支援の一端を担う立場から、今後も貢献と支援を強化してまいります。

そして、来年2027年、本会は創立80周年を迎えます。80年にわたり受け継がれてきた柔道整復の精神と信頼、県民と向き合い続けた歴史は、我々の最大の財産であります。この節目に向け、先人が築いた礎を守りながら次世代の育成、公益活動の拡張、地域医療・スポーツ・予防分野への更なる価値提供を進め、県民から必要とされ続ける団体であることを行動で示してまいります。

結びに、会員の皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げるとともに、柔道整復師の職能が地域社会の未来を支える重要な資源として機能し続けることをお約束し、ご挨拶といたします。



会長 江崎 博明

【役員】

顧問	加藤 和信
会長	江崎 博明
副会長	野田 光広 (総務・経理部長)
	安東 鉄男 (事業部長)
	首藤 彰典 (保険部長)
理事	高橋 祥三 (福祉・生涯学習部長)
	尾林 大生 (広報・総務副部長)
	加藤 豪 (学術教育・保険副部長)
監事	阿部 幸広
	永 竿 茂 男



執行部

【委員会】

(学術IT委員)	
委員長	尾林 大生
副委員長	江崎 仁介
	笠木 和久
	安東 亮
	梅崎 孝次
	北山 凌大
	森 一馬
	後藤 史裕

(柔道委員)

委員長	永 竿 茂 男
-----	---------

【部員】

学術部員	江崎 仁介
広報部員	安東 亮
事業部員	森 一馬

令和7年度 定時総会開催

令和7年5月25日(日)、本会整骨会館2階にて、令和7年度の定時総会が開催されました。

本年度は議決会員数173名に対し、出席162名(うち委任状111名、欠席11名)という多くの会員の皆様のご協力のもと、以下の通り各会議が執り行われました。

1. 連盟総会

加藤豪理事の司会進行により開会いたしました。会長挨拶に続き連盟総会が行われ、江崎博明委員長が議長を務められました。議事録署名人には森一馬会員、梅崎孝治会員が指名され、以下の報告が行われました。

- ・野田光広副委員長による事業・決算報告
- ・加藤和信監事による監査報告

審議事項である全4議題は、慎重な審議ののち無事に承認されました。

3. 協同組合 第13回通常総会

最後に、高橋祥三理事の司会により協同組合の通常総会が行われました。

尾林大生会員が議長に指名され、永竿茂男監事による監査報告の後、全ての議題が承認されました。

【役員改選について】

本年は役員改選の年にあたりましたが、前理事・監事の方々が再任されることとなりました。これにより、江崎博明会長率いる執行部は4期目を迎えることとなります。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

【令和7年度 表彰会員】

総会に際し、多大なる功績を残された会員の皆様へ表彰が行われました。

- 厚生労働大臣表彰……………会長江崎博明
- 本会30年永年勤続表彰会員 ……佐々木昭仁・前川羊介・興田尚玄
- 学術表彰会員……………尾林大生

受賞された皆様、誠におめでとうございます。

2. 定時総会

続いて定時総会が開催されました。物故者への黙祷を捧げ、新入会員の紹介が行われた後、議長に安東鉄男会員、副議長に首藤彰典会員が選出され、議事が進行しました。

- ・高橋祥三理事による事業報告
- ・野田光広・尾林大生理事による決算報告
- ・阿部幸広監事による監査報告

以上の報告を経て、提案された全8議題はすべて承認されました。



会場風景



懇親会風景



参加会員

令和7年度 臨時総会

令和7年12月21日(日)にトキ八会館において、令和7年度臨時総会を開催いたしました。議決会員数170名に対し、出席者は169名(委任状117名・欠席1名)でした。

議長には安東鉄男会員、副議長には首藤彰典会員が選出され、議事録署名人には梅崎孝次会員と山下知佳会員が選ばれました。全3議題は無事に承認されました。臨時総会の後には、県内論文発表、政治講演会、懇親会が行われました。

【表彰】

- ① 「匠の技伝承」プロジェクト指導者養成講習会表彰会員…………… 加藤豪、尾林大生
- ② 令和7年度日整生涯学習表彰会員…………… 江崎博明、加藤豪、江崎仁介



議事録署名人



日整生涯学習表彰



会場風景

令和7年度 夏季学術研修会

学術教育部長 加藤 豪

【救急救命講習会・柔道競技救護講習会】

令和7年6月8日(日)、本会整骨会館2階にて、夏季学術研修会「救急救命講習会・柔道競技救護講習会」を開催しました。講師には大分市中央消防署様をお迎えし、定員30名の参加者が、約3時間にわたり充実した講習を受講しました。

【講習内容】

- 普通救命講習 I
 - 成人を対象とした心肺蘇生法、AEDの使用法、その他救命処置の基本を学ぶコース。
 - 災害時や緊急時に迅速な対応ができるよう、実践的な指導が行われました。
- 柔道競技救護講習会
 - 柔道委員長 永竿茂男講師による競技特有の救護対応についての講習。
 - 柔道現場での安全確保に必要な知識と技術を習得しました。

本会では、災害時等への対応力を高めるため、今年度より大分市中央消防署に講習を依頼し、実施しました。

救急救命講習を受講した会員には、総務省消防庁より受講証が発行されました。

本格的な内容となり、参加者からは「非常に有意義だった」との声が寄せられています。



会場風景



講習風景



講習風景

令和7年度 春季学術研修会 匠の技伝承プロジェクト 県内講習会

学術教育部長 加藤 豪

令和8年1月25日、本会整骨会館2階にて、「匠の技伝承プロジェクト」県内講習会が開催されました。講習内容としては、肩甲上腕関節脱臼の整復固定法や肩周辺のエコーによる描出方法が含まれていました。

当日は多くの会員先生方にご参加いただき、講習および実技認定を通じて充実した研修会となりました。参加者からは、実践的で分かりやすい内容だったとの声が多く寄せられました。次年度に向けて、来年度開催予定の講習会についても、引き続き多くの会員皆様のご参加を心よりお待ちしております。



講習風景



笠木会員・福本会員審査風景



参加会員

令和7年度 公益大分若手塾

学術教育部長 加藤 豪

本年度も、若手柔道整復師の学びと交流を目的とした公益大分若手塾を開催しました。毎回約30名の参加者が集まり、学術・施術・保険業務、エビデンスやガイドラインに基づく知識を、グループワークや実技を交えながら深めました。

第1回 4月19日開催（大分県整骨会館2階）

テーマ：「若手柔道整復師のグループディスカッション意見交換会」

若手同士の意見交換を通じて、現場での課題や改善策を共有しました。



第1回ディスカッション発表

第1回参加会員

第2回 7月5日開催（大分県整骨会館2階）

テーマ：「足関節損傷のイロハ」

損傷の評価・施術方法について、グループディスカッション形式で学びました。



第2回加藤学術教育部長

第2回講習風景

第2回足関節講習

第1回ディスカッション

第3回 10月4日開催（大分県整骨会館2階）

テーマ：「超音波観察装置 実技体験型ワークショップ」

最新機器を用いた観察技術を実践的に習得しました。



第3回江崎会長

第3回肩関節講習風景

第3回肩関節実習風景

まず、実践重視のアプローチを採用しており、ワークショップ形式なので現場で役立つ技術を体験できます。また、エビデンスに基づく学びを提供し、ガイドラインを踏まえた施術や保険業務の理解を深めます。さらに、若手同士のネットワーク構築を促進する交流の場も提供しています。

来年度も、若手柔道整復師のスキルアップと交流を目的に、充実したプログラムを企画しております。多くの会員のご参加を心よりお待ちしております。

公益社団法人
日本柔道整復師会

第52回 九州学術大会沖縄大会

令和7年10月18日(土)、沖縄県のダブルツリーbyヒルトン那覇首里城におきまして、公益社団法人日本柔道整復師会九州学術大会沖縄大会が開催されました。本会からも多数の会員が参加いたしました。

今回の特別講演では、友愛医療センター人工関節センター長の永山盛隆先生をお迎えし、「四肢の外傷と関節疾患」についての講演が行われました。永山先生は、実際の症例を交えながら、四肢の外傷および関節疾患の診断と治療の知見について、分かりやすく解説してくださいました。

続いて、日整学術教育部からのお願いとして、徳山健司学術教育部長による「匠の技伝承プロジェクトの意義について」、川戸典知学術教育部員による「エコーを柔道整復師に」のご講演が行われました。また、「匠の技」ワークショップも開催され、参加者は実技を通じて匠の技による整復固定やエコーの活用方法について理解を深めることができました。

さらに、会員による論文発表の場では、本会の尾林大生先生が「外側上顆炎に対する徒手療法の有効性について」ご発表されました。尾林先生の研究成果は、多くの参加者の関心を集め、有意義な意見交換が行われました。

本大会を通じて、会員同士の交流や最新知識の共有が図られ、今後の業務に大いに活かせる貴重な機会となりました。ご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。



尾林大生会員



参加会員



発表者

柔道整復師業界・就職説明会・公益リクルート事業

令和7年8月24日(土)、J:comホルトホール大分にて「柔道整復師業界・就職説明会(公益リクルート事業)」を開催いたしました。

本説明会は、大分医学技術専門学校 柔道整復師科・鍼灸師科の3年生を対象とした就職説明会、ならびに1・2年生向けの学生研修先説明会として企画されました。

説明会の内容としては、まず江崎博明会長より「柔道整復師の現状」と題した業界説明が行われました。業界を取り巻く現状や、これからの展望などについて、学生の皆さんに分かりやすくお話しいただきました。続いて、学術教育部長に加藤豪理事より「有用的な施術所での研修と実務経験」について、現場で求められる知識や技術、研修の意義等について説明がありました。

今回の説明会では、学生の参加が少数にとどまりましたが、今後も会員育成と業界発展のため、諦めず継続して開催していく所存です。参加事業主の皆様、並びに関係者各位に心より感謝申し上げますとともに、次年度以降もより多くの学生にご参加いただけるよう広報活動を強化してまいります。



会場風景



江崎仁介会員



高橋祥三会員

Re:bone日整全国オンライン意見交換会

日整は柔整タスクフォースチーム「Re:bone」(リボーン)を創設しました(※reborn「生まれ変わった」※bone「骨」)。これは、令和4年通常総会において、若手代議員から『若い世代の日整会員から意見を吸い上げるシステムが日整にない。組織強化のためにも、そうしたシステムを考えて欲しい』との要望があったこと。また、同時期に日整理事会においても、若手の意見も聞く場を設ける必要性があるとの判断から、決定したものです。

大分県からは加藤豪理事が出席しました。学生の意識調査などの資料をもとに業界の未来について議論しました。



加藤豪理事

大分県整骨会館2F事務所 テナント募集中

2F
87m²

連絡先

別大興産：097-551-7700 大分県柔道整復師会：097-503-3334

大分柔整EXPO1.0 ～次世代へつなく新たな挑戦～

学術教育部長 加藤 豪

業界の活性化と若手育成を目指し、令和7年9月7日に「大分柔整EXPO1.0」をコンバルホールにて初開催いたしました。

開催の背景と目的

近年、柔道整復師を取り巻く環境は厳しさを増しており、会員数の減少やコロナ禍による対面交流の停滞が課題となっていました。これらを打破するため、以下の目的を掲げて本イベントを企画しました。

○ 技術・知識の向上：

最新の医療機器や施術技術の展示、ワークショップを通じた専門性の深化。

○ ネットワーキング：

柔道整復師同士や関連企業が一堂に会し、臨床の悩みや最新トレンドを共有する場の創出。

○ 社会的地位の向上：

伝統医療である柔道整復の価値を再認識し、地域医療における重要性を広く発信すること。

当日の様子と成果

会場には13社の企業が出展し、最新機器の体験会や「匠の技伝承プロジェクト」を活かしたワークショップが行われました。

○ 来場者数：

当初の目標50名を大きく上回る119名が来場されました。

○ 新規入会への手応え：

会場内に設けた入会相談ブースには3名の相談があり、会の活動を直接アピールする貴重な機会となりました。

○ 実践的な学び：

リアルな症例映像や実演を「見て・体験する」ことで、参加者のモチベーション向上に繋がりました。

今後の展望

今回の開催で得られた反省点や改善点を活かし、来年度はさらに洗練された内容を目指します。私たちがかつて憧れた「活力ある柔道整復」を取り戻し、次世代の柔道整復師へしっかりと襷をつなげるよう、今後一丸となって邁進してまいります。

今回の開催にあたり、ご協力いただいた出展企業の皆様、ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます

出展企業一覧(順不同)

- ・ (有)サイトウ医療器
- ・ (株)日本メディックス
- ・ (株)テクノリンク
- ・ 東京医研(株)
- ・ (株)デジットシステム
- ・ ダイヤ工業(株)
- ・ (株)アイクレイ
- ・ ミナト医科学(株)
- ・ 伊藤超短波(株)
- ・ 酒井医療(株)
- ・ (株)エス・エス・ビー
- ・ O.Aシステムシャープ(株)
- ・ 中山式産業(株)



受付



ワークショップ



会場風景



業者ブース

外側上顆炎に対する徒手療法の有用性について

大分県 尾林 大生



I. はじめに <図1>

外側上顆炎は、いわゆる「テニス肘」として知られる疾患であり、施術所において多くの患者が来院する症例の一つである。近年、外側上顆炎に対する様々な治療法が検討されており、固定や物理療法が一般的である(加藤,2017)。さらに、ストレッチ等の徒手療法は、外側上顆炎の施術において有効な選択肢の一つと考えられている。しかし、より効果的で安全な徒手療法の開発が求められている。外側上顆炎に対する徒手療法の研究を重ねてきた結果、手関節掌屈可動域と前腕回外可動域を改善する手法を用いることで、有意な効果が得られることを発見した。本論文では、この徒手療法の詳細と、臨床研究における結果について報告する。

II. 目的

本研究の目的は、徒手療法による外側上顆炎患者の可動域改善効果と治療後成績改善率を検討することである。

III. 対象

本研究は、令和5年10月から令和6年10月までの間に、当施術所を受診した外側上顆炎患者60名を対象とし、徒手療法の効果を検証した。対象を手技療法群30名と対象群30名に分けた問診票を渡すことで分類しランダム化比較試験(RCT)を用いて、手技療法が外側上顆炎患者の可動域と治療後成績改善率に与える効果を検証した。

IV. 方法

1. 手技療法

本研究で用いた徒手療法は、以下の2つのステップから構成されている。

1) 手関節掌屈可動域改善 <図2>

術者は患者の手根骨を把持し、患者に指示し、後方に体重をかけてもらう。その状態で、術者は患者の前腕に対して末梢方向への牽引を行う。牽引を行いながら、術者は患者の手関節を上下左右の方向にゆっくりと動かす。この動作を、患者の手関節に軋轢音が消失するまで繰り返す。

2) 前腕回外可動域改善 <図3>

術者は患者の前腕下端部を片手で把持し、もう片方の手の拇指で患者の橈骨頭をしっかりと把持する。橈骨頭を把持したまま、術者は患者の前腕に対して軽く末梢方向への牽引を行う。牽引を行いながら、術者は患者の肘関節を屈曲させ、同時に前腕をゆっくりと外旋させる。この動作を、患者の肘関節でクリック感を検知するまで繰り返す。

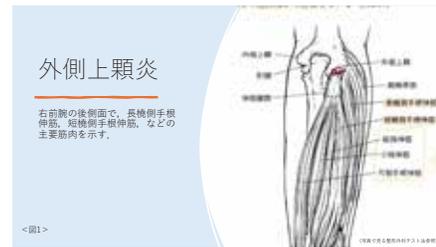
2. 評価方法

○ 可動域測定：

測定肢位は座位にて角度計を用いて測定した。手関節掌屈可動域は、前腕は回内・回外の間位で掌屈させ、最大掌屈角度を測定した。肘関節外旋可動域は、肘関節を90度屈曲した状態で、前腕をゆっくりと回外させ、最大回外角度を測定した。<図4>

○ 治療後成績改善率：

日本肘関節学会の肘機能スコア上顆炎を使用し評価を行った。<図5>



<図1>



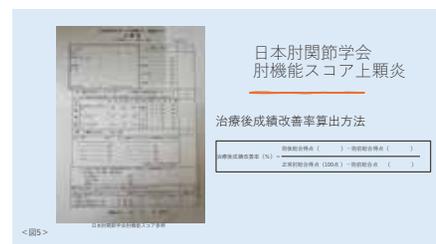
<図2>



<図3>



<図4>



<図5>

V. 結果

1) 可動域 <図6>

群	手関節掌屈改善角度(度) (95%CI)	前腕回外改善角度(度) (95%CI)
手技療法群	8.2 (7.4-9.0)	10.3 (9.5-11.1)
対照群	2.3 (1.5-3.5)	4.2 (3.4-5.4)

手技療法群は、対照群に比べて、手関節掌屈改善角度と前腕回外改善角度が有意であった。

2) 治療後成績改善率の評価 <図7>

群	治療後成績改善率 (95%CI)
手技療法群	69.6% (62.1-77.1%)
対照群	34.4% (27.0-41.8%)

手技療法群は、対照群に比べて、治療後成績改善率が有意であった。

VI. 考察

当施術所に来院した上腕骨外側上顆炎の有症者の外来総数における割合は4.6%であり、一般的な本症の発生率1~3%程度でいえば整形外科が有症者にとって最初に訪れる医療機関であるためと推察される(加藤,2017)。今回の結果、関節掌屈可動域と前腕回外可動域を改善する徒手療法を用いることで、外側上顆炎患者の可動域と治療後成績改善率が有意に改善することが示唆された。外側上顆炎は、短橈側手根伸筋の炎症が原因である。超音波観察装置で確認したすべての症例で短橈骨手根伸筋に変性断裂が観察された。<図8>この筋肉は、手関節の背屈や、前腕を回内する際に重要な役割を果たす。

本来、上・下橈尺関節の構造上もっとも安定した肢位は回内・回外が同程度の時の肢位である。(I.A.KAPANDJI,1986)したがって、上・下の関節は同調し依存している。肘関節を軽度屈曲し手関節を最大背屈させる時は肩関節外旋の連動に伴い上・下橈尺関節は回外方向へ同調を行う。<図9>しかし、遠位橈尺関節の回外が制限されると同調性が失われる。そのため、普段は太くて強い長橈側手根伸筋に分散されている力が収束して脆弱な短橈側手根伸筋にかかり、炎症を引き起こしやすくなる。<図10>本研究で用いた手技療法は、手関節掌屈可動域と前腕回外可動域を改善することで、短橈側手根伸筋へのストレスを軽減し、拮抗筋である長橈側手根伸筋にストレスが分散されるため炎症の改善に繋がると考えられる。そのため、全体を通じてデスクワーク勤務者でタイピングしている有症者が多い(加藤,2017)のは肘関節伸展位で前腕回内・手関節背屈位での仕事は短橈骨手根伸筋に連続した強い緊張がかかり続ける事が発症の原因と考えられる。

VII. 結論

以上のことから、手関節掌屈可動域と前腕回外可動域を改善する徒手療法は、外側上顆炎患者の可動域と治療後成績改善に有効な治療法であると結論付けられる。今後、さらに多くの患者を対象とした臨床研究を行い、本手技療法の効果と安全性について検証していく。

結果 可動域

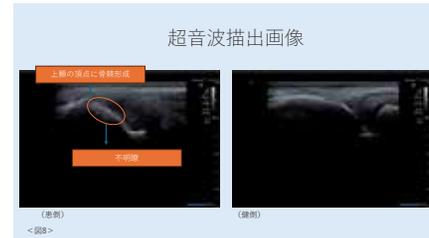
群	手関節掌屈改善角度(度)	前腕回外改善角度(度)
手技療法群	8.2(95%CI: 7.4-9.0)	10.3 (95%CI: 9.5-11.1)
対照群	2.3 (95%CI: 1.5-3.5)	4.2 (95%CI: 3.4-5.4)

<図6>

結果 治療後成績改善率

群	治療後成績改善率
手技療法群	69.6% (95%CI: 62.1-77.1%)
対照群	34.4% (95%CI: 27.0-41.8%)

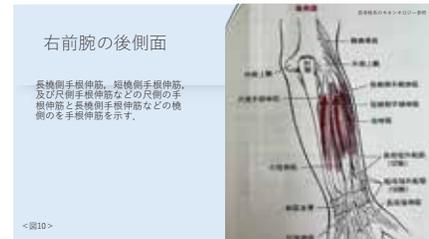
<図7>



<図8>



<図9>



<図10>

日本柔道整復接骨医学会
COI開示

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

筆頭演者：尾林大生

<図11>

VIII. 倫理規定 <図11>

本論文はヘルシンキ宣言に則った研究であり、開示すべきCOI関係に当たる企業等はない。

第34回 日本柔道整復接骨医学会 学術大会

発表者 尾林 大生 会員

令和7年12月6・7日に帝京平成大学中野キャンパスにて第34回日本柔道整復接骨医学会学術大会が開催されました。

今大会のテーマは「エンジョイ学会!エンジョイ柔道整復接骨医学!~オール柔道整復師の学会をめざして~」でした。これから保険診療を行う上で絶対的に必要なことはしっかりとしたエビデンスの上で施療を行っていくことだと学びました。私を含め認定柔道整復師は大分県では10名の先生がいます。柔道整復師のエビデンスを紡ぎ未来の業務拡大と、もちろん自己研鑽のために入会をよろしくお願ひします。

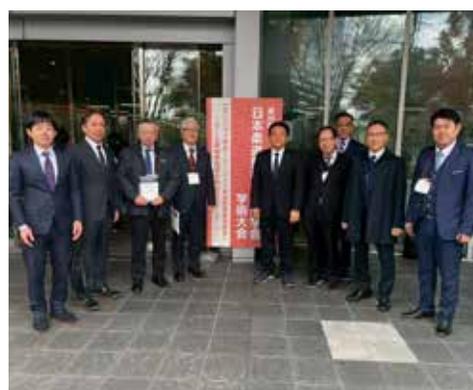
今回5回目となる全国大会の発表は「外側上顆炎に対する手技療法の有用性」です。多くの皆様のご指導とご協力のお陰で無事発表を終えることができました。最後に応援に来ていただいた役員、会員の先生方ありがとうございました。



尾林大生会員



会場



参加会員

文部科学大臣杯争奪 第34回 日整全国少年柔道大会 並びに 第15回 日整全国少年柔道「形」競技会 報告

副会長 野田 光広

令和7年11月16日(日)に講道館にて開催された本大会は全国各地から多くの少年少女や柔道整復師が講道館に集い行われる大会で、選手の皆さんにはこの経験を活かし勝利至上主義に陥ることなく、「精力善用」「自他共栄」を理解し、成長を願うものです。

柔道大会は、2回戦岡山県チームに惜敗し、「形」競技会では、僅差で予選敗退となりました。関係各位並びに上京して応援していただいたご父兄にはお礼申し上げます。

【柔道大会】

監督:森一馬

選手:柳井雄斗・上田豪毅・行武心晴・高田兵庫・河野志煌

【「形」競技会】

監督:大塚強司

選手:柳井雄斗・大塚凜翔



試合風景



形競技 参加選手



団体戦参加選手

第26回 日本社会医療学会学術大会

令和7年10月25日(土)から26日(日)に第26回日本社会医療学会学術大会が開催されました。大会テーマは「障がい・疾病をめぐる医療と福祉の在り方」でした。

大会には、加藤和信顧問、江崎博明会長、野田光広・首藤彰典副会長、加藤豪・尾林大生理事が参加しました。

初日は、「柔道整復師の医療への関わり方」というテーマで、大山耕平(宮崎県柔道整復師会理事)の発表から始まりました。その後、宮崎、熊本、鹿児島、大分県の役員が柔整分科会に出席し、東京都柔整師会の瀧澤一裕会長から東京都の業界の現状を聞いたのち、多くの意見交換が行われました。

2日目は、各専門職6名の個人発表と2名の教育講演が行われました。また、特別講演として参議院議員内閣大臣政務官の今井絵理子先生による「障がい・疾患をめぐる医療と福祉の在り方」～自らの体験を通して～がありました。



柔整分科会



参加会員



九州参加役員

柔道競技救護事業

柔道委員長 永竿 茂男

令和7年6月8日(日)午後より本会整骨会館2階にて、第21回大分県整骨旗争奪少年柔道大会の救護担当者を対象に柔道競技救護講習会を開催しました。上記大会は、全国大会に繋がるため国際柔道連盟試合審判規定に基づいた競技救護が必要となります。スパインボードの説明や試合中最も頻度の高い止血処置をメインに質疑応答を踏まえ、活気ある有意義な講習会となりました。

【スパインボード】

- ・スパインボード使用…仰向けパターンとうつ伏せパターン
- ・役割分担…5人1組
(頭部固定1人(指示役)、ログロール方法および、ベルト係、搬送等)
- ・頭部、脊椎等重度の損傷の疑いがある選手の搬送は頸椎を固定。
- ・搬送頻度が高いのは、四肢の外傷等(頸椎の固定は不要)…歩けないほどの痛み他



講習風景

【止血実技】

- ・アルギン酸カルシウム入り止血パッド、防水テープ、テーピング使用により処置。
指・手・足・爪・頭部・顔面部(鼻出血・目の上・アゴ・口唇出血・耳)他
- ・同部位の止血は2回まで。3回目の出血で相手の棄権勝ちとなる。
- ・爪の処置、出血時の止血処置は自身で行うか救護員が行うか選手が選択。
爪がはがれた場合、救護員は爪切りで切除の手伝いができる。



止血法

【その他】

- ・脳震盪・熱中症…少しでも意識障害があれば試合中止。
- ・過換気症候群…ペーパーバック法は現在では推奨されていない。



会場風景

第21回 大分県整骨旗

柔道委員長 永竿 茂男

令和7年7月27日(日) 中津市総合体育館「ダイハツ九州アリーナ」にて第21回大分県整骨旗争奪少年柔道大会並びに第34回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会予選会が開催されました。今年は平年通りの7月開催で、県内20道場から22チーム、約160人の参加があり、昨年に引き続き盛大に行われました。

開会式の後、本会の安東鉄男会員八段、森一馬会員参段による「講道館護身術」の演武が披露され、続いて個人戦、団体戦と熱戦が繰り広げられました。

個人戦は4、5、6年生各学年でトーナメントが行われ、優勝者、準優勝者で構成される5名の県代表選手が選出されました。森一馬会員監督のもと令和7年11月16日(日)に東京の講道館で開催される第34回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会に県代表チームとして派遣することが決定しました。

団体戦では、高田少年柔道クラブAが優勝し今回で3連覇、準優勝は森道場A、3位は安岐柔道Aと臼杵市柔道連盟少年部となりました。

本大会の運営にあたり、準備、進行、審判、救護等に協力して下さった方々、東九州龍谷高校柔道部の皆様には深く感謝を申し上げます。



表彰



団体優勝 高田少年柔道クラブA



競技外救護



準備



参加会員

争奪少年柔道大会 開催



※第34回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会
 大分県代表チーム
 監督 森一馬会員
 先鋒 4年生 河野志煌(高田少年柔道クラブ)
 次鋒 5年生 高田兵庫(中津少年柔道クラブ)
 中堅 5年生 行武心晴(日田市少年柔道クラブ)
 副将 6年生 上田豪毅(森道場)
 大将 6年生 柳井雄斗(臼杵市柔道連盟少年部)



代表選手

第15回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道「形」競技会については、令和7年8月10日に開催された第8回大分県少年少女柔道形競技会にて優勝したチームを大分県代表として本会から委嘱し、派遣が決定しました。

※第15回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道「形」競技会
 大分県代表
 監督 大塚強司(臼杵津久見柔道連盟)
 取 6年生 柳井雄斗(臼杵市柔道連盟少年部)
 受 5年生 大塚凜翔(臼杵市柔道連盟少年部)



第74回 別府大分毎日マラソン 柔道整復師救護事業

公益社団法人大分県柔道整復師会準会員 首藤 健太

日時：令和8年2月1日(日)9:00~17:00

場所：ジェイリーススタジアム(大分市)

メディカルスタッフ

加藤 豪・尾林 大生・梅崎 孝次・安東 亮・森 一馬・江崎 仁介・山下 知佳

後藤 史裕・首藤 健太・阿部 愛未



第74回別府大分毎日マラソンにおける救護ボランティア活動を終えて、伝統ある別府大分毎日マラソンに、柔道整復師として救護チームに加われたことを光栄に思います。

日頃の臨床現場で培った技術が、極限状態で走るアスリートにどこまで通用するのか、また地域社会貢献、柔道整復師の認知度と社会的地位の向上の一環として参加をさせて頂きました。

私はフィニッシュ地点の救護を担当しました。主な業務は、完走後の選手のケア・医務室への選手搬送、筋痙攣(足がつる症状)への処置、およびテーピング処置です。

ゴール直後に下腿三頭筋や大腿二・四頭筋の激しい痙攣を訴える選手が多く、迅速なストレッチと温罨法処置を行いました。次々と運ばれてくる選手に対し、緊急性の有無(脱水症状や意識障害)を瞬時に見極めるトリアージの重要性を再認識しました。

施術所ベッドの上とは異なり、屋外の限られた設備と時間の中で結果を出すことの難しさを痛感しました。特に、選手の「まだ走りたい」「完走したい」という強い精神性に触れ、それに応えるための的確な声掛けと、安心感を与える手の温もりの大切さを改めて学びました。

医師、看護師、理学療法士、鍼灸師、そして運営ボランティアの方々と連携し、一つのチームとして動く経験は非常に刺激的でした。他職種の動きを見ることで、柔道整復師が担うべき「外傷・軟部組織損傷への専門性」という役割がより明確になりました。

今回の経験を通じて、スポーツ現場における即時対応能力の課題が見つかりました。この貴重な経験を日常の臨床に還元するとともに、今後も地域の競技やスポーツイベントを支える活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。最後に、このような機会を頂いた(公社)大分県柔道整復師会および大会関係者の皆様に深く感謝申し上げます。



全体ミーティング



ゴール地点ミーティング



後藤会員



安東会員



梅崎会員



参加会員

大整会ゴルフ部だより 『大分弁』

由布市 野田 光広

開業して間もない頃、「ユーロが、コブラツイストになった」と、訴えながらゴルフの帰りに来院された患者さんがいました。

さて、どういう意味かわかるでしょうか？

意味がなんとなくわかる方は大分方言とプロレス両方を知っている方かもしれません。

まず、「ユーロ」という大分弁をご存じでしょうか？

「ユーロ」はふくらはぎ(下腿部)のことです。

コブラツイストは有名なプロレス技の一つですが、今回は患者さんの言い間違いで、実際には「こむら返り」のことでした。

私が開業した頃は、方言をよく使う患者さんが多くいましたが、最近ではあまり耳にしなくなりました。以前は、関節を捻ったことも、「キヤ」とか、「キャキャ」と表現する方も大勢いました。

レセプトに原因を記載する際、捻ったことを、「キヤ」と表現するのは如何(いかが)なものかという話題になったことがありました。県内ではやや通用するものも、県外ではまずわからないだろうということで、県外のレセプト申請には「キヤ」という表現は、あまり使わないほうが良いのではないかという意見もありました。

確かに、全国的に若者の共通語化は進んでいます。しかし方言が完全になくなるのかというと、そうではありません。地方では、相手に応じて方言と共通語を使い分けています。家族内や親しい間柄では方言を良く使い、あまり親しくない方には標準語を使うという使い分ける文化が残っています。

今後、日本全国では共通語を話す人が多数派になっていくでしょう。しかし地方では方言と共通語の共生する社会が続くのではないのでしょうか。方言は地域のアイデンティティとして是非残していきたいものですね。

今日も、ゴルフに行き、アドとツブシを「キャア」とした患者さんが来院されました。

(参考:アド…踵 ツブシ…膝)



101回 03.23 大分中央GC



102回 05.18 別府GC



103回 06.22 大分CC月形



104回 09.23 由布高原GC



105回 11.23 大分竹中CC

“夢”アスリート

—道—

國學院大學1年 吉村 悠之介

私が柔道を始めたのは5歳のとき、父に連れられて永竿茂男先生が指導していた「安心院柔道クラブ」に行ったのがきっかけでした。当時は柔道がどんな競技なのかも分からないまま始めましたが、気がつけば柔道に夢中になっていました。厳しい練習に耐え、毎週のように県外へ出稽古に行き、仲間と必死に食トレをしたことも今ではすべて良い思い出です。その食トレのおかげで今は減量が大変です。(笑)

小学生のときに唯一出場できた全国大会「日整全国少年柔道大会」は、特に心に残っています。大分県チーム監督は永竿先生、そしてメンバー5人のうち3人が安心院柔道クラブからの出場でした。結果は負けてしまいましたが、柔道の聖地「講道館」で試合ができたことは大きな自信となりました。その経験や安心院柔道クラブでの日々が、今の自分をつくっていると強く感じます。

高校3年生のとき、地元・大分で開催されたインターハイでは、家族や親戚が会場に来てくれて、これまでにないほどの応援を受けました。さらに救護には永竿先生がいて、その姿を目の前にした瞬間、力が湧いてきたのを覚えています。全試合がゴールデンスコアとなる激闘でしたが、なんとか優勝することができました。小学生の頃になりたかった日本一の夢が、永竿先生や家族の前で叶えられたことが本当に嬉しかったです。試合後、永竿先生がすぐに駆け寄って抱きしめてくれたのは今でも鮮明に心に残っています。

現在は國學院大學で柔道を続けています。寮生活を送りながら、オリンピック選手や国内のトップ選手たちと練習できるという恵まれた環境で日々刺激を受けています。まだまだ未熟ですが、日本を代表して世界で戦える選手、そして応援される選手になれるよう一日一日を大切に過ごしていきます。そして、皆さんに良い報告ができるようこれからも頑張ります。



新入会員紹介

Run For Dream

- ① 施術所名
- ② 住所
- ③ 電話番号



しお さき と わ
塩崎 永久

- ① あおき整骨院
- ② 大分市大在浜2丁目281
- ③ 097-578-8424



たか せ ひで や
高瀬 豪也

- ① 賀来の輪整骨院
- ② 大分市賀来南1丁目8-1
- ③ 097-594-1112



ふく い し ろう
福井 士郎

- ① みんなの鍼灸整骨院
- ② 大分市賀来新川2丁目1番3号
- ③ 097-574-5942



なか むら よし ひろ
中村 祥大

- ① 中村整骨院
- ② 大分市大字森町474-2
- ③ 097-523-0230



ま みづか かず き
馬見塚 和樹

- ① 健笑堂かく鍼灸接骨院
- ② 大分市賀来南1-1-83 VERDE SHINMYO 101・102号
- ③ 097-549-1010

学生コラム

夢に向かって

大分医学技術専門学校
柔道整復師科 3年

仁田野 秀宜



怪我の多かった柔道生活が、私の進路を決めるきっかけとなりました。

私はこれまでさまざまなスポーツに挑戦してきましたが、中でも長く続けてきたのが柔道です。練習や試合で怪我をすることが多く、私自身だけでなく、周囲の仲間も接骨院や大会の救護として来られていた柔道整復師の先生方にお世話になる機会が多くありました。治療を受ける中で、怪我で苦しむ人の力になりたいと思うようになり、令和5年4月に大分医学技術専門学校柔道整復師科へ入学しました。

医療の知識がないまま飛び込んだこの世界は、新たな発見と驚きの連続で、学業は決して楽なものではありませんでした。時には厭になることもありましたが、2年生の7月に行われた実習で、その思いは大きく変わりました。実際に接骨院で従事する中で、人の身体に直接触れ、回復を支え、その人の日常や夢を取り戻す手助けができる仕事であること。技術だけでなく、人の心にも寄り添える仕事であると実感し、改めて柔道整復師を目指す気持ちが強くなりました。

その後、勉強や先生方、友人との関わりを通して、私の目指す柔道整復師像は徐々に明確になっていきました。柔道整復師科は他学科と比べ外部実習が少ないかもしれませんが、限られた時間の中で何を学び、何を吸収するかが重要だと思います。私自身、もっと積極的に行動すればよかったと感じることもあり、在校生の皆さんにはさまざまなことに挑戦してほしいです。

3年間学校に通えたのは、先生方、家族、友人など多くの方々の支えがあったからです。現在私達は3月に行われる国家試験に向け勉強に励んでいます。これまでの非常な時間と努力が実を結ぶよう最後まで努力を尽くし全員合格を目指します。

誰かの当たり前の日常を支えられる存在になれるよう、感謝と謙虚さを忘れず、これからも研鑽していきます。



公益社団法人 大分県柔道整復師会

令和8年3月 発行



〒870-0921

大分県大分市萩原4-8-58 大分県整骨会館

TEL 097-503-3334 FAX 097-503-3338

<https://www.seikotsu-oita.jp/>

発行者 江崎 博明

印刷 株式会社サンデザイン

TEL 0977-85-8626

【整骨“夢”おおいたは平成22年創刊号より最新号までホームページにて閲覧できます】

編集後記

今号も最後までご覧いただき、ありがとうございました。今回の広報誌から、紙での配布を必要な分だけにするため、アンケートを実施しました。多くの方から「1部で十分」「電子版が良い」とのご回答をいただき、改めて気づいたことがあります。それは、患者さんに配布できていないのではないか、という点です。

そこで今号では、手軽にできるストレッチの方法を掲載しました。患者さんへのストレッチ指導の際に、ぜひご活用いただければ幸いです。

これからも、患者さんに役立つ情報はもちろん、本会や柔道整復師の皆さまにとって有益な記事をお届けできるよう努めてまいります。ご意見や感想もぜひお寄せください。次号もどうぞお楽しみに!

(広報部長 尾林 大生)

〈表紙の解説〉

今回も表紙は1年間のダイジェストとして写真で振り返りました。



●アキレス腱伸ばし

意識する筋肉・腱：
アキレス腱（かかと上部）
腓腹筋（ふくらはぎ）、
ヒラメ筋（ふくらはぎ）
大腿二頭筋（太もも後面）



●開脚伸展

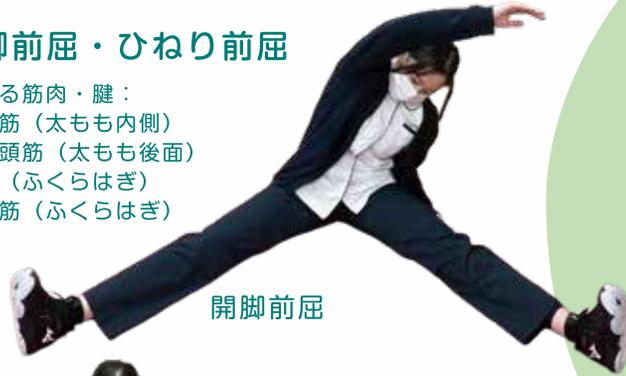
意識する筋肉・腱：
大腿二頭筋（太もも後面）
腓腹筋（ふくらはぎ）
ヒラメ筋（ふくらはぎ）
アキレス腱（かかと上部）

慣れてきたら
さらに深く腰を落とす。



●開脚前屈・ひねり前屈

意識する筋肉・腱：
大内転筋（太もも内側）
大腿二頭筋（太もも後面）
腓腹筋（ふくらはぎ）
ヒラメ筋（ふくらはぎ）



開脚前屈

ひねり前屈



お手軽ス

スキマ時間で
心も体も軽くなる

●足裏合わせ

意識する筋肉・腱：大内転筋（太もも内側）



●胸の張り出し

意識する筋肉・腱：
大胸筋（胸）
脊柱起立筋（背）



●肩入れ股関節伸ばし

意識する筋肉・腱：
大内転筋（太もも内側）
大腿二頭筋（太もも後面）
外・内腹斜筋（脇腹）



●足首の引き上げ

意識する筋肉・腱：
大殿筋（お尻）
大腿二頭筋（太もも後面）



●大腿部前面伸ばし

意識する筋肉・腱：
大腿四頭筋（太もも前面）



ストレッチ

リフレッシュ
毎日の健康習慣！



●腰ひねり

意識する筋肉・腱：
外・内腹斜筋（脇腹）
大殿筋（お尻）

●背中丸め

意識する筋肉・腱：腹直筋（腹）



心も体も リフレッシュ！

毎日数分の「ご自愛」習慣 勉強やデスクワークの合間に、固まった体を気持ちよく伸ばしてみませんか？

筋肉の緊張をほぐすことで血流が良くなり、疲労回復やケガの予防にもつながります。

「痛気持ちいい」と感じる強さで、呼吸を止めずにリラックスして行うのがポイントです。隙間時間を活用して、柔軟で健やかな体を作りましょう。

●ひじ伸ばし

意識する筋肉・腱：
三角筋（肩）



公益社団法人
大分県柔道整復師会
会員施術所

(164箇所)

※令和8年1月31日現在

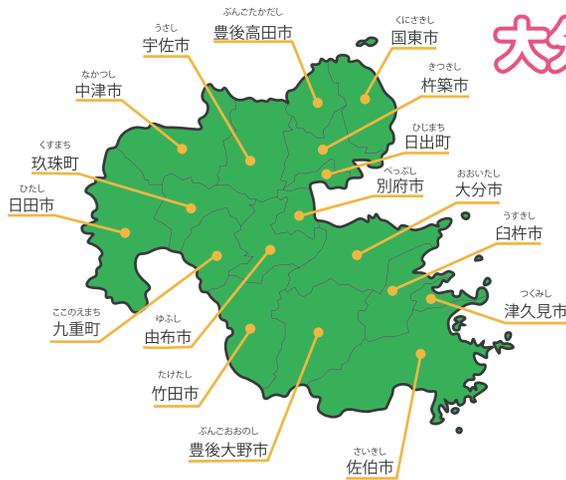


Table for 国東市 (3) listing clinics: 加藤整骨院, さこの接骨院, やすまつ整骨院 with phone numbers.

Table for 別府市 (29) listing clinics: あべしょう整骨院, あんどう整骨院, いやしの樹整骨院, etc.

Table for 臼杵市 (4) listing clinics: 今村鍼灸整骨院, うすきのね接骨院, うすき八町整骨院, etc.

Table for 津久見市 (2) listing clinics: 堅田整骨院, つくみ名倉整骨院.

Table for 佐伯市 (9) listing clinics: 江藤整骨院, 鎌田整骨院, くにも整骨院, etc.

Table for 豊後高田市 (3) listing clinics: さかい整骨院, さとみ整骨院, たかだ整骨院.

Table for 杵築市 (4) listing clinics: 江藤接骨院, 住吉整骨院, 田辺整骨院, 森整骨院.

Table for 大分市 (71) listing clinics: あおき整骨院, あけがわら整骨院, あけの整骨院, etc.

Table for 由布市 (5) listing clinics: 阿部整骨院, えとう鍼灸接骨院, 杉田整骨院, etc.

Table for 中津市 (8) listing clinics: あおば整骨院, いき整骨院, 江崎整骨院, etc.

Table for 宇佐市 (8) listing clinics: 安東整骨院, いもと鍼灸整骨院, 宇佐整骨院 鍼灸院, etc.

Table for 日田市 (8) listing clinics: いわき整骨院, きよた整骨院, たかはし整骨院, etc.

Table for 玖珠町 (1) listing clinic: くす整骨院.

Table for 竹田市 (3) listing clinics: いりえ整骨院, 宇都宮整骨院, 千房整骨院.

Table for 豊後大野市 (3) listing clinics: 健栄すざきの樹はりまきゅう接骨院 三重院, 杉田整骨院, 森 整骨院.